

3 鳥獣被害対策の取組み

令和3年8月27日
全国農業新聞

7 農業委員会 2021年(令和3年)8月27日(金) 全



宮城・色麻町

北上を続け、東北地方でも被害を増やしている猪。宮城県色麻町は、町

全体をワイヤメッシュ網で囲い、防いでいる。被害の発生は2012

年ごろからだ。同町は16年から、農地周りを中心に電気柵を設置したが、根本的な解決にはつながらなかった。そこで、19年5月に鳥獣被害対策アドバイザーとして鈴木淳さん(かきなりデザイン合同会社)を招聘した。鈴木さんは「猪の行動把握が大切」と、町と協力し、目撃情報や足跡、踏み倒しなどの痕跡から侵

町全体を柵で囲い猪被害を防止

合意形成へ粘り強く話し合い

入経路などを予測。山側や河川からの侵入が多いことを突き止めた。同町で鳥獣被害対策に携わる産業振興課の阿部剛主査は「調査をもとに町全体を柵で囲うことを考えた。農地単位の設置より柵全体の距離も短く、維持管理もしやす」と話し、構想図はあくまで案だと説明し、住民と一緒にさまざまな検討を重ねた。多い地区では20回以上、足を運んだそうだ。阿部主査は「合意形成に専門的な知見を持つアドバイザーの存在は貴重だった」と感謝する。そうして完成した構想図を基に昨年度、トータルの4割にわたるワイヤメッシュ柵を設置。費用は、ほぼ全額を国の鳥獣対策



色麻町、侵入防止柵を設置

イノシシの農作物被害を防ぐため、色麻町は今月、山側部に総延長約41キロの侵入防止柵の設置作業を始めた。秋の終わりにワイヤメッシュ柵を張り巡らし、イノシシの侵入を町全体で防ぐことを目指す。

加美農高生「地域貢献」

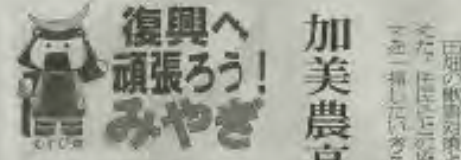
昨年、生徒が育てたサツマイモやデントコーンがイノシシやクマの食害で壊滅的な被害を受けた。同高は2キロ分の柵の設置を担当するほか、隣接する地区の分の資材運搬を手伝う。3年佐竹



令和2年8月22日
河北新報

総延長41キロの柵設置進む

色麻町 イノシシ被害など防止



復興へ張り切り！ 復張りやぎみやぎ

加美町天童町字... 復張りやぎみやぎ

大崎市市民活動サポートセンター指定管理者募集

大崎市、大崎市市民活動サポートセンターの指定管理者を募集する。募集期間は令和2年8月7日まで。



令和2年8月24日
大崎タイムス

構想図（案）の効果（令和3年度検証結果）

- 1 被害報告件数、農作物被害金額が少なくなった
- 2 行動域が制限されたことで、わなが設置しやすくなり、捕獲頭数が増えた。
- 3 侵入された場合でも、柵の破損などから侵入原因を掴みやすくなった。
- 4 ツキノグマがワイヤーメッシュ柵を乗り越えたときに歪曲することで、移動経路がわかるようになった（上部の歪曲のみのためイノシシ対策の効果は変わらない）。



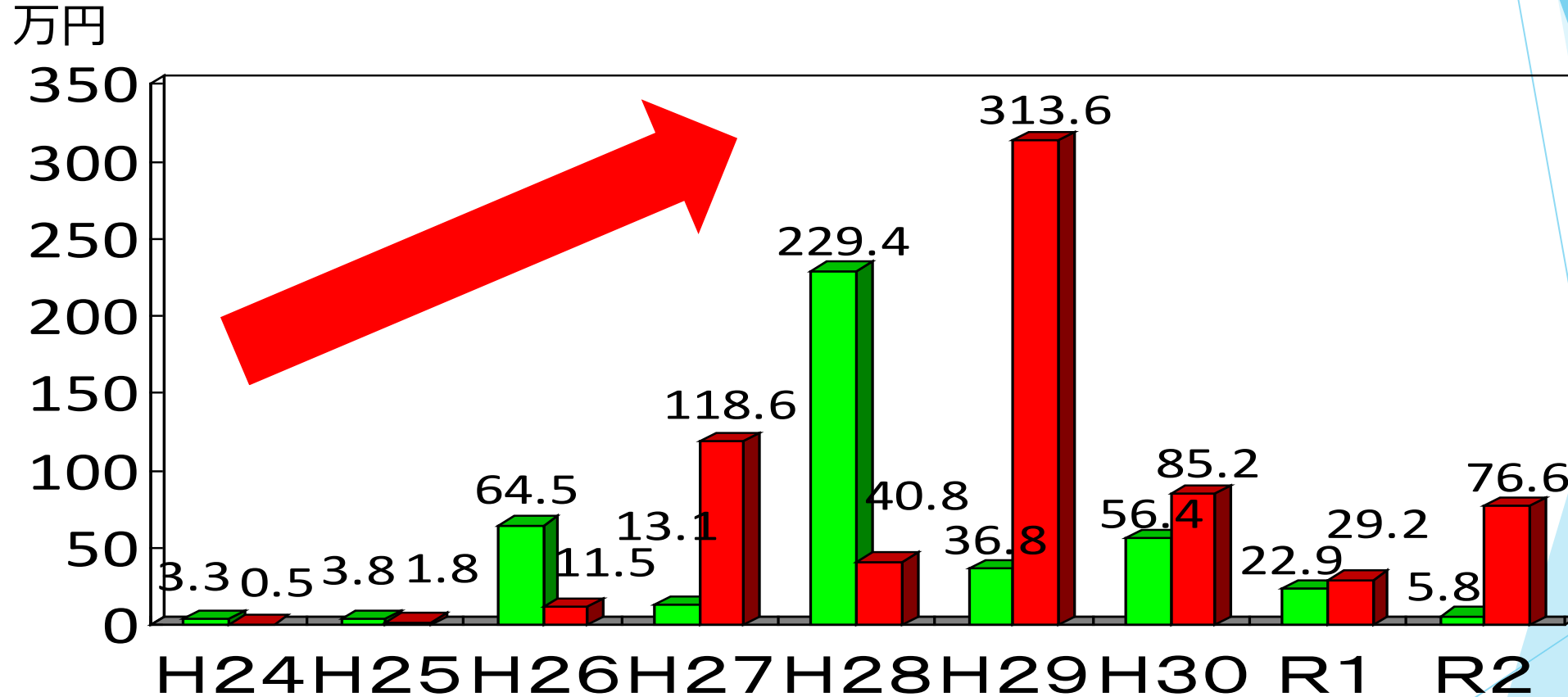
フェンス沿いの獣道



ワイヤーメッシュ柵上部の歪曲

3 鳥獣被害対策の取組み

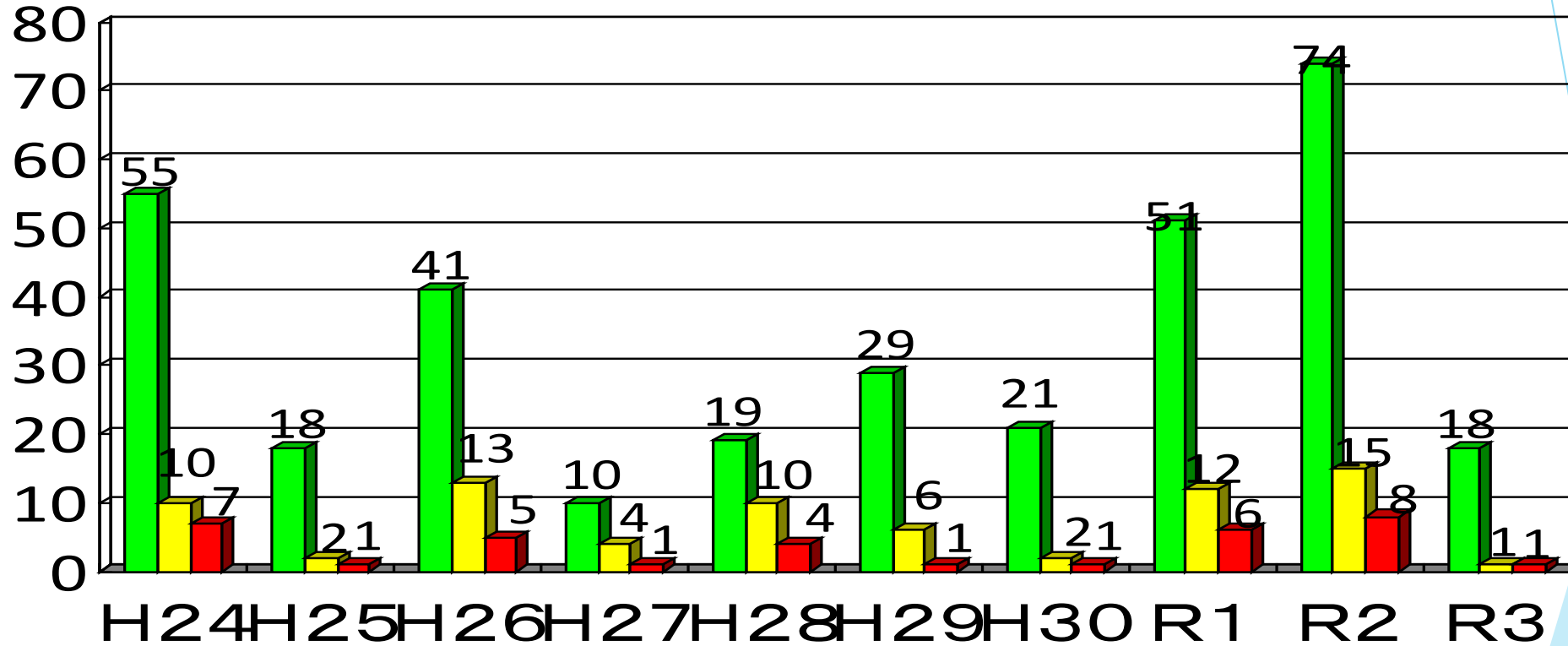
色麻町の獣類による農作物被害額の推移



■ ツキノワグマ ■ イノシシ

3 鳥獣被害対策の取組み

ツキノワグマ

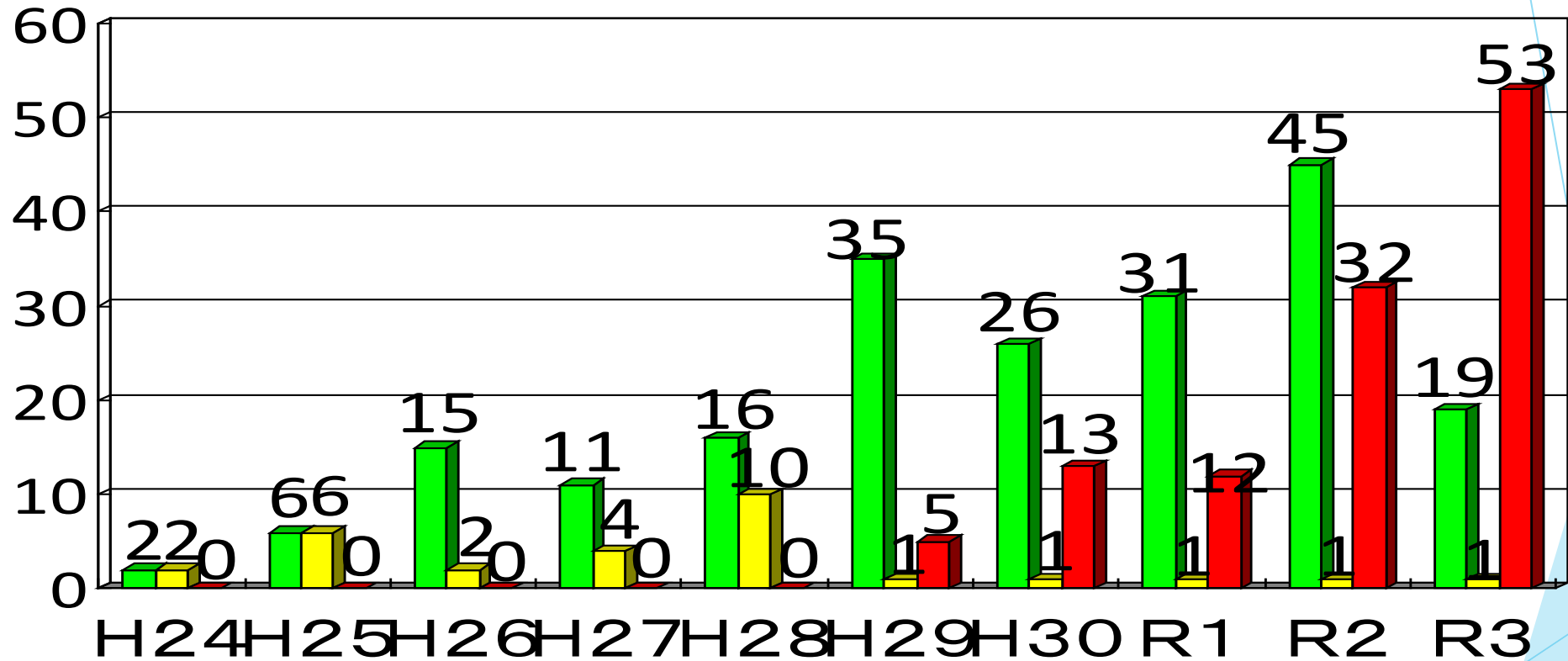


■ 報告件数 ■ 捕獲許可件数 ■ 捕獲頭数

※報告件数は、目撃件数と被害件数の合計である。

3 鳥獣被害対策の取組み

イノシシ



■ 報告件数 ■ 捕獲許可件数 ■ 捕獲頭数

※報告件数は、目撃件数と被害件数の合計である。

※平成29年度から捕獲許可期間を延長したため、件数は1件となる。

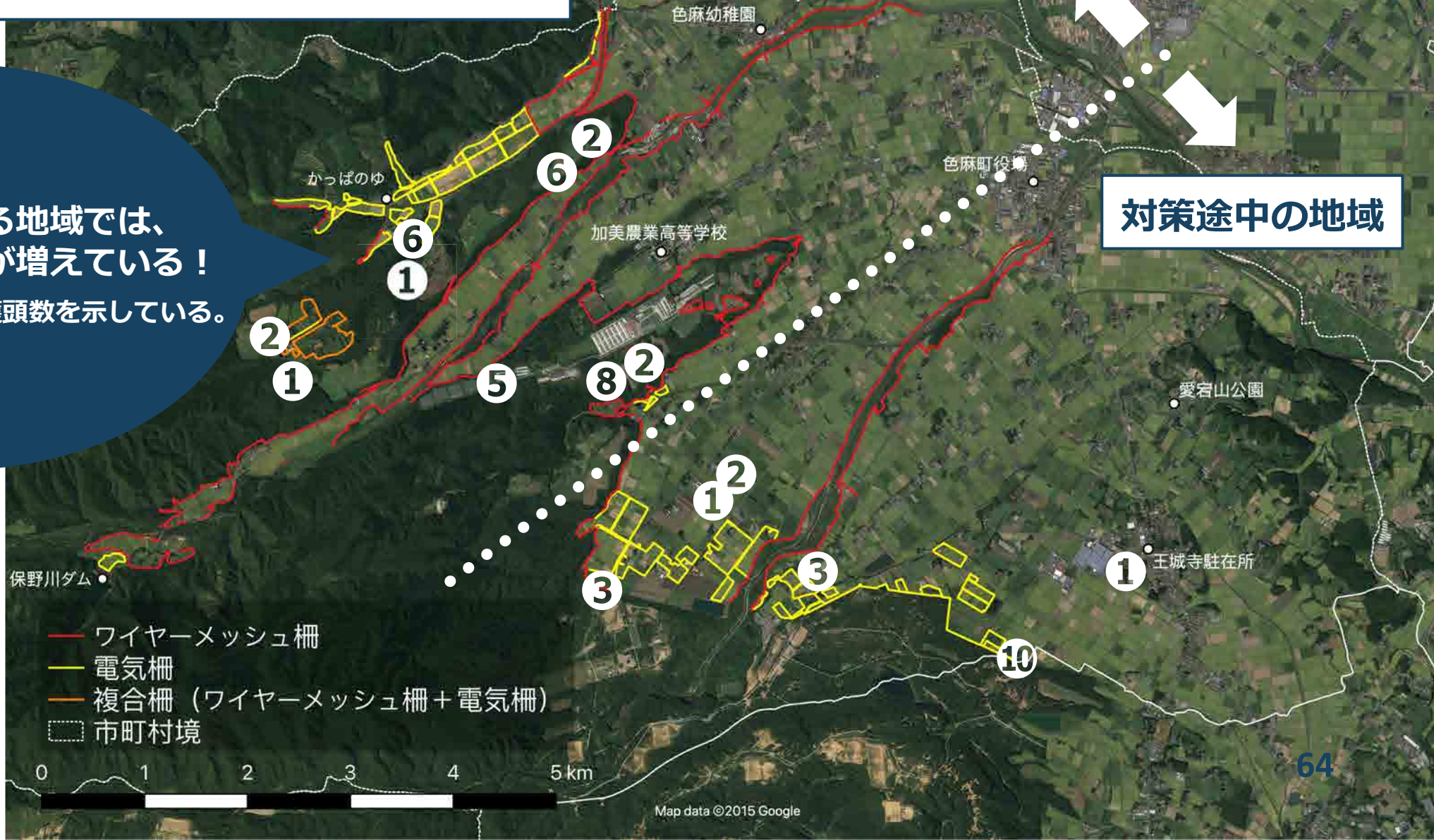
3 鳥獣被害対策の取組み

イノシシの捕獲効率が向上

対策が進んでいる地域では、
柵の外側での捕獲が増えている！
※丸数字は捕獲場所と捕獲頭数を示している。

対策が進んでいる地域

対策途中の地域



4 みえた課題や今後の取組み

- **みえた課題**
- **地域おこし協力隊の制度を活用**
令和4年度から鳥獣対策支援員を配置
- **鳥獣被害対策実施隊を支援**
捕獲に関するマニュアルを策定
- **ツキノワグマ対策**